

7月29日(火)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージザ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

堂々たる「皇帝」 新たな光を当てた「巨人」!



7/27 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

© 増田雄介

フェスタサマーミュージザ2025の2日目は高関健率いる東京シティ・フィルが登場、前半はソリストに小山実稚恵を迎えてベートーヴェンの「皇帝」、後半はマーラーの交響曲第1番が演奏された。

「皇帝」は冒頭のカデンツから小山のヴィルトウオジティが全開、彼女らしい芯のあるタッチによる強靱な表現が両端楽章で披露される一方、第2楽章ではクリスタルな美しさが光る。高関もオケをたっぷり響かせながら、小山とがっぷり四つに組んでいく。ロマンティックな表情付けを排し、テンポもほぼイン・テンポ、例えば慣習的に速度を落とす箇所もほとんどテンポを変えない。



ピアノ…小山実稚恵

© 増田雄介

い。骨のある剛毅さが際立つ堂々たる「皇帝」だった。

鳴りやまぬ拍手に応じて小山が弾いたアンコールはショパンの夜想曲作品9-2。一転して静かな叙情美がホールを包み込む。

高関の本領がフルに発揮されたのが後半のマーラーで、いつもながら使用楽譜への拘りが彼らしい。この演奏会で彼が用いたのはクービック校訂の国際マーラー協会版だが、これは未だ校訂中で出版に至っておらず、今回特別に許可を得てその校訂途中の段階のスコアを使用、しかもそこに高関自身の判断で修正を加えたとのこと。実際これまで聴いてきたのとは違う印象を受けた箇所も多かったが、それが校訂によるものか、高関の修正もしくは演奏表現によるものかは定かでない。多少の瑕こそ散見されたものの(特に曲頭の舞台裏のトランペットは残念)、細部まで瑞々しい表情が息づく迫真的な表現で聴衆を引き込んでいく高関の手腕は流石で、作品に新たな光を当てた聴き応えある演奏だった。

(音楽評論家 寺西基之)



(左から) 指揮：高関健 ピアノ：小山実稚恵
コンサートマスター：戸澤哲夫

ご来場者の声

本当に素晴らしいかったです!大曲2曲、堪能できました!!生きていて良かった!!明日からまた頑張ります!!!いっぱい元気とエネルギーいただきました!!(60代・会社員・となりのキティ) / プレトークがありこれから聴く曲への期待と理解が深まっていいです。指揮者の高関さんの明快な指揮にできるシティ・フィルが素敵でした。(30代・公務員・みお) / 小山さんのピアノ、いつ聴いても素晴らしい。冒頭からひき込まれました。マーラー、マエストロ一度も譜面見ずに振ってました。若々しいオケがそれに応えて迫力あるマーラーが聴けました。(匿名) / 来場者も含めて会場の雰囲気が良く、市民でつくっているのを感じられてとても良かったです。(70代・会社員・まー) / 皇帝と巨人、間にアンコールのノクターン。三者三様すべてが輝く。改めてミューザというホールの懐の深さを実感! 巨人演奏後に高関マエストロが、日本初演のクーベック 2019 年校訂版総譜に手を置いたシーンが忘れられない。(ゲーファ) / 小山実稚恵さんの演奏を以前ミューザで聴き、再び聴くことができ感動しました。また来ていただきたいです。(60代・主婦・カッパ) / 「皇帝」と「巨人」どちらも名曲!ただ、名曲故に、どうも力みすぎた演奏も多いのですが、今日はバランスの取れた好演でした。特にマーラーの終楽章が良かった! (20代・すどた)

チケット窓口ご利用の皆様へ

サマーミュージザ期間(7/26~8/11)は、チケットの引取りで4Fチケットカウンターが大変混雑します。
そのため、**公演日の開場時間~開演時間、4Fチケットカウンターはご予約済チケットの引取りのみとさせていただきます、チケット販売を一時休止します。**

※当日券は当日券カウンターにてご購入可能(完売公演を除く)です。
※電話予約・Webチケットは、通常通りご利用いただけます。
ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、4Fチケットカウンターの混雑緩和に何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

当日券あり

みづぽ

フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 25

明日の公演情報

東京都交響楽団

心躍るメロディーとリズムの名曲集!

7/30(水) 15:00開演 (プレトーク14:20~)

指揮：熊倉 優 ピアノ：奥井紫麻 *

■ショスタコヴィチ：タヒチ・トロット

■チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 *

■ストラヴィンスキー：バレエ音楽『火の鳥』組曲(1919年版) 他

S席 6,000円(僅少)

A席 5,000円

B席 4,000円

U25 各席種半額

TEL・WEB 予約 当日 13:00まで

当日券カウンター 14:00より

熊倉 優 (指揮)



© 堀江力丸

奥井紫麻 (ピアノ)



© Takahiro WATANABE

芸術の秋・音大オケの秋！

秋の名物企画「音大オケ・フェス」は、首都圏8つの音楽大学が出演するシリーズです。今年は3DAYSでお届けします！（うち1日は東京芸術劇場）ぜひ3日間とも足をお運びください！

ミュージザ公演は以下のラインナップ。

●11/30(日) 武蔵野音大は、ミュージザでおなじみの原田慶太楼とのチャイコフスキー4番。東京音大は松井慶太指揮マーラーの「巨人」。そして、本日出演の洗足音大は下野竜也との「幻想交響曲」。個性豊かな大曲が並び、お腹いっぱいになること間違いなし!!

●12/7(日) 国立音大×藤岡幸夫はシベリウス第1番。東邦音大は大友直人とのチャイコフスキー4番。2日間で武蔵野音大と東邦音大、2校のチャイコ4番を聴けるチャンス！各大学の特色も見えてくるのでは?! 北の大地を感じさせるカップリングを、ミュージザの音響で余すことなくご堪能ください！
(事業企画課・か)



原田慶太楼 (11/30)
©kumiko suzuki



下野竜也 (11/30)
©Shin Yamagishi



松井慶太 (11/30)
©Ayane Shindo



藤岡幸夫 (12/7)
©Shin Yamagishi



大友直人 (12/7)
©Rowland Kirishima

第16回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2025

11/30(日)15:00開演

会場:ミュージザ川崎シンフォニーホール

武蔵野音楽大学 (指揮: 原田慶太楼)
東京音楽大学 (指揮: 松井慶太)
洗足学園音楽大学 (指揮: 下野竜也)

チャイコフスキー: 交響曲第4番
マーラー: 交響曲第1番「巨人」
ベルリオーズ: 幻想交響曲

12/7(日)15:00開演

国立音楽大学 (指揮: 藤岡幸夫)
東邦音楽大学 (指揮: 大友直人)

シベリウス: 交響曲第1番
チャイコフスキー: 交響曲第4番

チケット 各1回券 1,500円 / 3公演通し券 3,600円



好評
発売中



パートナーショップご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



お腹いっぱい幸せイタリアン

川崎駅ビル、アトレの4階にあるイタリアンレストラン「トラットリア ターヴォラ」へ、大学の先輩と一緒にに行ってきました。ランチの時間帯のメニューが豊富で、何を食べようか迷ってしまいました。

この日は、ラグーソースのスパゲッティとラザニアが1つのお皿で堪能できるメニューを注文しました。パスタは、ソースの香りがとてもよく、1度たべたら止まらなくなってしまう。ラザニアも、チーズたっぷりで、お肉との相性も抜群! 一度に二度楽しめるこちらのメニュー、とてもおすすめです。

ボリュームたっぷりなので、普段からよく食べられる方にも、是非行っていただきたいお店です。1度足を運んでみてはいかがでしょうか。(受付・たく)

トラットリア ターヴォラ

F アトレ川崎 4F

パートナーショップ特典

ピッツア又はパスタご注文でワンドリンクサービス
※「優待チラシ」持参者のみ(1名)

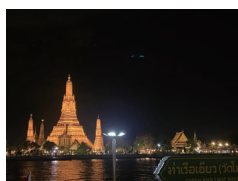


フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ
で検索 & 投稿
お待ちしております!



X: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki
YouTube: @kawasakisymhall



所でした。タイにご興味のある方はぜひ一度訪れていただきたいです!
(広報営業課・バンコク帰り)

また、日本では考えられないような出来事や驚くことも多かったですが、困っている時にすぐ手を差し伸べて助けてくれたのもタイ人でした。なかなか言葉で覚えられなくて結局あいさつ程度しかやり取りできまじいでしたが、タイの人々は本当に優しく、いつも笑顔で接してくれました。

一昨年の春、大好きなミュージザを離れ、主人の仕事の関係でタイのバンコクに年頃の娘二人とともに移り住みました。しばらくはドキドキしながらの生活でしたが、徐々に街や人、食べ物にも慣れ、気づけばとても快適に楽しく生活できていました。同じ日本人でも、バンコクでしか出会わなかったであろう方々との出会いに刺激を受けたことも多くありました。

スタッフ
日誌